



公益社団法人 日本建築家協会《JIA》関東甲信越支部 城東地域会主催

なりたての建築士のための設計コンペ

《事務所ビル》

日本建築家協会【JIA】城東地域会は、公益法人の社会貢献として、一級建築士のデザイン・空間表現の向上を目指しています。今回、一級建築士の資格を取得された皆様は、2次製図試験も合格されたわけですが、これは試験として行われた設計であり、本来の建築家として、自らの意図を表現する事は無かったと思われまます。JIA城東地域会は、試験とは別に、建築家として同じ課題に取り組んだ時は、異なる設計提案が有るものと考えます。そのため、一級建築士のデザイン・空間表現の向上を目指す場として、一級建築士の製図試験と同じ条件での、設計コンペティションを計画しました。このコンペティションは、設計課題は、《令和4年度 一級建築士試験「設計製図の試験」》と同じ、【事務所ビル】とします。設計条件も敷地及び周辺状況は、一級建築士試験と全く同じ、建築物に求める要求も同様とします。しかし、これは試験では無いため、**自らの判断で、設計課題により的確にこたえるために、条件を逸脱しても構いません。**要求図書は、一級建築士試験とは異なり、A3版用紙であれば、どのような記載でも構いません。試験と同じ図面でも構いませんが、パースやイメージのみ、あるいは文章のみでも構いません。自ら課題に対する適正な回答を表現できる方法での提案を求めます。**失格条項はありません。全て同様に審査します。**

応募資格	資格：令和4年度 一級建築士試験合格者
課題・条件	《令和4年度 一級建築士試験「設計製図の試験」》と同じ、【事務所ビル】
登録	登録開始 2023年4月3日
質疑	質疑受付 2023年4月10日～14日（期間厳守）、質疑回答 4月17日 JIA城東地域会HPに提示（個別には回答いたしません。）
応募作品	レイアウト、表現方法は自由 設計主旨文章、計画イメージ、図面、パース、CG、模型写真、ダイアグラム等、どのような形式でも提案可能 上記内容を含む提案を、A3用紙1枚にまとめて、PDF形式のデータで、提出して下さい。（縦横 自由） *詳細は、一級建築士合格発表頃、HPに掲載予定
提出方法	PDF形式で、メールで送信して下さい。
提出期間	開始：2023年5月15日～締切：5月22日（期間厳守）
審査員	審査委員長+基調講演：建築家 畝森泰行 畝森泰行建築設計事務所 Awards：2020年 JIA優秀建築賞・日本建築学会作品選奨他 「須賀川市民交流センターtette」
審査会	【日時】 予定：2023年5月27日 土曜日（公開審査会と同時に、審査委員長の基調講演も予定） 公開審査（プレゼンテーション）・講演会共に、Web（zoom）にて開催予定とします。
表彰	最優秀賞…1作品 賞金7万円、優秀賞……2作品程度 賞金3万円
主催	公益社団法人 日本建築家協会【JIA】関東甲信越支部 城東地域会（詳細は、3月27日頃 HPに掲載予定 https://jiajyoto.wixsite.com/mysite ）
協賛	株式会社 総合資格



なりたての建築士のための設計コンペ



BASE,2021©Yurika Kono

私たちの時代のオフィス

「オフィス」という概念が生まれたのは、産業革命の時と言われています。決められた時間に、決められた場所で、集まって働くその空間をオフィスと呼ぶようになって既に200年が経ちました。その概念がいま揺らいでいて「どのように働くか?」「そのためのオフィスとはどういうものか?」と皆模索しているのではないのでしょうか。離れることを求める一方で集まる価値も見直され、それら働くことの多様性が認められる、いまの時代の新しいオフィスをこのコンペで探してみたいと思います。

以前、イームズの事務所を映像で見たことがあります。倉庫のような大きな空間のなか、たくさんの机や椅子、棚の他にも工具や撮影機材、風洞実験などの機械が見えました。制作途中のモックアップから完成した物まで、映像やプロダクト、そして建築にいたるまでの創作に関するさまざまなものに溢れており、まさしくそこは楽しく挑戦的なイームズ夫妻そのもののような事務所でした。オフィスとは、そういう個性が現れるところであり、また創造的な現場でもあると映像を見て私は思ったのです。と同時に、オフィスという概念が初めて生まれた瞬間も、実はダイナミックで独創的だったのではないかと、とも想像しました。私たちが思い浮かべるどこか均質で機械的な「オフィス」と異なる、動的で有機的な「オフィス」が出現していたのではないかと。そういう概念が生まれる瞬間とは、社会の価値観が変わろうとする時であり、またそれは何か言葉にできない大きな運動のように思うのです。

いま私たちも、その運動の只中に生きている気がします。大きく変わろうとしているこの時代の、興奮と想像力を掻き立てる提案を期待します。

テーマ・審査員



審査員+基調講演
:建築家 畝森泰行

略歴

1979年 岡山県生まれ
 1999年 米子工業高等専門学校卒業
 2002年 横浜国立大学卒業
 2005年 横浜国立大学大学院修士課程修了
 2002-09年 西沢大良建築設計事務所勤務
 2009年 畝森泰行建築設計事務所設立
 現在 横浜国立大学・日本女子大学
 ・東京理科大学非常勤講師

受賞歴

- ・BCS賞
- ・JIA優秀建築賞
- ・日本建築学会作品選奨
- ・新建築賞(吉岡賞)
- 他

主要作品

- 「Small House」(2010)
- 「須賀川市民交流センターtette」
(2019、石本建築事務所と共同)
- 「北上市保健・子育て支援複合施設hoKko」
(2021、tecoと共同)
- 「Houses」(2022)
- 他